

小ざくら夜間保育園
村川 大介



学 支 繋 育・遊 暮・働

にじいろ新聞

2019.7

発行元：社会福祉法人クムレ 水島拠点 ひろば にじいろ
倉敷市水島北幸町2番5号 TEL.086-476-2016
ホームページ <http://www.cumre.or.jp>

令和元年度 初月号 NO. **1**



“ともに育ち ともに生きる”というクムレの理念をかがげ、

「人をつなく 地域をつなく。子どもから始まり、みんなで支え合う水島の地域づくり」

を目標に“にじ”にかかった5つのカテゴリー（育・遊、学、支、繋、暮・働）ごとに地域の方と力を合わせて、子どもや家族を支える取り組みを行っています。にじいろ新聞では、その温かい取り組みをご紹介します♪

倉敷市鶴心寮
西野 まゆみ

児童家庭支援センタークムレ
岡本 初江

きらり水島
川上 亜仁

小ざくら乳児保育園
山本 己晴

特集：クムレにパワーとハートを届け

くれる地域の方々の紹介！

★
西和会の皆さん♪

私たちは、連島の籠取神社のふもとの西浦学区で地域の皆様の為に活動しているグループです！



一粒の種から大きな実（支えの広がり）に



野菜作りが得意な地域のおじちゃん達「^{にしのみわい}西和会」と子ども達が一緒に作る野菜畑の紹介です。

季節の野菜の種や苗を植えて育てる体験から、場に出てくるきっかけをもち、子ども達に“できた”経験を持てるように働きかけています。

ひとつのものを皆で育てる協同作業から得られるものは、子ども達にとっては良い経験となり、私たちにとっても嬉しい。子どもが喜ぶことをメインにして、みんなで楽しい経験ができればいいですね。

今後は、野菜作り以外にも活動を広げていきたい。大人数の場や、少人数の場、親子で一緒に参加してみることで顔なじみになれる。そこから、“やってみたい”という子どもの希望を叶えられる活動をしていきたいですね。

また、収穫された野菜は、食を介した交流の場「ひだまりカフェ」で使用しています。

ここでも主任児童委員さんやボランティアさん等、様々な方に支えて頂いています。



『にじいろ新聞が出来るまで』
絵の得意なお子さんが書いてくれました♪



近隣大学生と一緒に水島地域の活性化へ

水島商振連の皆さん♪

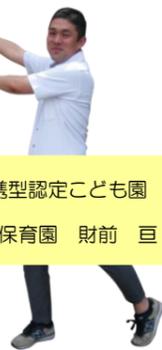
昔の水島地区はこうだったな♪



川崎医療福祉大学・医療福祉学科講師 直島克樹先生のゼミに所属している学生とコラボレーションし、水島地区の活性化に向けたフィールドワーク（地域調査）を進めています。

子どもからお年寄りまで、地域に暮らすみんなが集える「みんなで作る！まちの図書館 in 水島」の実現に向け、地域の皆様へプレゼンテーションをしました。

幼保連携型認定こども園
小ざくら保育園 財前 巨



直島先生とゼミの皆さん♪

それでは、参加学生の意気込みをどうぞ！



児童発達支援センタークムレ
中谷 成美

「水島の地で、私たちにできることで子どもたちの役に立てたら嬉しいです！」

「プロジェクトに参加することになり、人と人の繋がりの中でできることの可能性を感じています。プレオープンで、一緒にできるきっかけができていくといいなと思っているので、まずは、プレオープンに向かって頑張りたいです！」



昨年度から始まったこの取り組みは、今年度の居場所の実施に向けて動いており、継続的な実施に向けて次代のゼミ生へ引き継がれています。

クムしいいきポイントボランティア交流会 (アフタヌーン交流会)

水島拠点
クムしいいきポイント
登録者185名



いつもお世話になっている地域の“クムしいいきポイントボランティア”登録者の方の交流会【6月29日(土)】にはお子様も含め55名の方が来て下さり、楽しく過ごす中で地域の事をお話できる場となりました。



小ざくら小規模保育園
成田 日都美



きらり玉島
守屋 奈緒

てとて
井川 雅文



アルバイトの下方さん

水島拠点の説明会で小ざくらを見学させていただいてより興味をもち、自分のためになると思って、アルバイトを始めました。子ども達から下方先生と呼ばれたり、一緒に遊んだりすると元気がでます。春からは夜間保育園の職員になれるよう採用試験に挑戦します。



次回は8月2日(金曜日)

17:30~19:00

赤ちゃん(ナイト交流会)です。